

こころの医療を地域で支える精神科病院で あなたの薬剤師の職能を 発揮しませんか？

～こころの医療に、薬剤師の専門性を～



精神科病院の薬剤師って、どんな仕事？

対応する疾患が幅広い



うつ病、統合失調症、認知症、発達障害など、さまざまな患者さんの治療に関わりながら、薬剤師としての臨床経験と対応力を幅広く積むことができます。

多職種チーム医療の一員として活躍



医師・看護師・心理職・リハビリ職などと日常的に連携し、「薬の専門家」として意見を求められ、治療方針に関わる場面が多くあります。

高い専門性を習得できる

精神疾患の薬物療法や服薬支援を通じて、精神科ならではの専門知識と実践力が着実に身につきます。



薬剤師としてのキャリアアップ

精神科で培った経験は、将来どの分野に進んでも活かせる“強み”となり、薬剤師としての選択肢を大きく広げます。



精神科病院って、どんな病院？

一人ひとりの患者さんに丁寧に向き合い、多職種が連携してチームで支える医療が行われています。精神疾患への理解が深まり、薬剤師としての視野が大きく広がります。

- 薬剤師として、もっと幅広い経験をしてみたい
- 患者さんに近いところで、チーム医療に関わりたい
- 「こころの病気」について、きちんと理解したい

精神科病院は、新しい一歩を踏み出そうとする薬剤師を歓迎しています。



公益社団法人日本精神科病院協会
〒108-8554 東京都港区芝浦3-15-14

詳しくはこちら



こころの医療に薬剤師の専門性を

～薬の知識で、回復と社会復帰を支える～

精神科医療における薬物療法は症状を抑えるだけではありません。
患者さんの回復と社会参加を長期的に支える医療です。



精神科病院の薬剤師って、どんな仕事？

患者さんの言葉を薬学で理解し伝える言葉へ。
精神科薬剤師は「対話」と「科学」の間に立つ専門職です。



精神科薬剤師の主な役割

1. 精神疾患の薬物療法の最適化
2. 有効性と副作用モニタリングと服薬の支援
3. 多職種チーム医療への参画
4. 患者・家族への薬学的支援
5. 退院後の生活を見据えた薬物療法の支援



精神科病院って、どんな病院？

一人ひとりの患者さんに丁寧に向き合い、多職種が連携してチームで支える医療が行われています。精神疾患への理解が深まり、薬剤師としての視野が大きく広がります。

- 薬剤師として、もっと幅広い経験をしてみたい
- 患者さんに近いところで、チーム医療に関わりたい
- 「こころの病気」について、きちんと理解したい



精神科病院は、新しい一步を踏み出そうとする薬剤師を歓迎しています。

精神科医療の現場で、あなたの薬剤師としての専門性を発揮してみませんか？



公益社団法人日本精神科病院協会
〒108-8554 東京都港区芝浦3-15-14

詳しくはこちら



精神科薬剤師の魅力

回復を支える薬剤師の役割

- ・ 薬の知識で、患者さんの回復を支える。
- ・ 薬学の専門性で、人生の回復を支える。
- ・ こころの医療を、薬剤師の専門性で支える。

患者理解とコミュニケーション

- ・ 患者さんの言葉を、薬学で理解する。
- ・ 患者さんの声を、薬学の視点で読み解く。
- ・ 対話と科学の力で、回復を支える。

精神科医療における専門性

- ・ 精神科医療のチームに、薬剤師の力を発揮する。
- ・ 精神科薬物療法の専門家として活躍する。
- ・ 精神科医療の現場で、薬学の専門性を発揮する。

地域医療への貢献

- ・ 地域のこころの医療を支える。
- ・ 地域でこころの医療を支える薬剤師として活躍する。

こころの医療に挑戦する薬剤師としての新しいキャリアへ。

精神科病院の先輩薬剤師からのメッセージ

心に寄り添い、回復を支える薬剤師へ

精神科医療における薬物療法は、症状の改善にとどまるものではありません。急性期治療から退院後の生活再建、そして社会の中で安定して暮らし続けるための長期的な支援が求められます。

精神科病院に勤務する薬剤師は、薬物療法の適正化と安全性を担いながら、回復の過程に専門職として継続的に関わります。

科学的根拠に基づく判断と多職種との協働を通じて、一人ひとりの生活と社会参加を支えます。

回復支援に専門性をもって関わるという選択を、あなたの次の一步に。

患者さんの言葉を、薬学で理解し、伝える言葉へ

精神科医療では、症状や副作用は患者さんの言葉として語られます。

その一つひとつに耳を傾け、科学的視点で意味を読み解く。

そして、治療の意義と薬の作用を納得できる言葉で伝える。

精神科薬剤師は、対話と科学のあいだに立ち、回復を支える専門職です。

その役割に、一緒に挑戦してみませんか。